

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.09-021

PDCA	事務事業名	放置自転車等対策事業	部課等名	総務部 防災交通課 交通防犯担当	担当	大岩	
					内線等	286	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (3) 駐輪場・駐輪場の整備 個別施策： ②駐輪場の整備					
	根拠法令等	半田市放置自転車等防止条例					
	対象・目的	この事業は、市営自転車等駐輪場を適正に維持・管理することであるが、放置自転車の処理台数を事業の成果に関連づけることが困難であるため、文章にて表記する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営自転車等駐輪場内の放置自転車等の巡視、警告、移動、保管、引越し、周辺の清掃等</li> <li>市内各駅周辺の自転車等放置禁止・抑制区域の放置自転車等の巡視、警告、移動</li> <li>関係機関へ放置自転車等の所有者照会及び所有者への引渡し通知</li> <li>市営自転車等駐輪場の適正な維持・管理</li> </ul>					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①放置自転車等撤去の処分台数	388	340	396	台	
		②盗難自転車等引き渡し件数	14	22	14	件	
		③放置自転車等所有者への引き渡し件数	65	61	54	件	
		事業費	10,693	11,083	11,447	千円	
		人件費	2,087	2,347	2,134	千円	
	総事業費	12,780	13,430	13,581	千円		
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①放置自転車等対策業務にかかる1か月あたりのコスト	1,065	1,136	1,132	千円		
	②						
③							
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	①駐輪場に長期間放置された自転車の処理台数	実績値	467	423	464	台	
		目標値	570	600	600		
	②	実績値					
		目標値					
	③	実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	<b>C</b>					
		市営駐輪場の清掃や巡視、撤去勧告等を行い、放置自転車として464台を処理するなど、駐輪場の管理に努めることができた。					
		利用者が多く駐輪自転車が飽和していたJR亀崎駅に、新駐輪場を設置したことで飽和状態の解消に繋がり、駅周辺の交通環境を改善することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
	既存の各市営駐輪場において、引き続き空きスペースへの誘導や、一定期間以上放置されている自転車への警告札貼り付けを徹底し、放置自転車の適切な処理に努める。						
	令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
		①駐輪場に長期間放置された自転車の処理台数				485	台